

名古屋女大家政 ○南川 幸

平野 年秋

大沢つね子

1. 有用な肉質キノコ類の多くは丘陵帯林に発生する。今回は暖帯に位置する丘陵帯林の一つの Climax forest であるシイ林を温存する伊勢神宮々域林に発生する肉質キノコ類について調査を実施したので報告する。

2. 研究にあたって先ず森林組成を精査し、各種の Faciation に分類した。次に分類した各シイ林を周年にわたって調査し、発生種と量を調査した。さらに発生種のうち食用に供し得る種について抽出した。

3. 伊勢神宮々域シイ林は組成上より解析して *Sakakieto Shiietum cuspidatae*, *Castanopsis Cuspidata-Ropanaea neriifolia Sub-Ass.*, *C. C. -Quercus gilva Community* に分類される。

これらの森林には *Leccinum Scabrum*, *Lactarius Violascens*, *L. Volemus*, *Russuula lepida R. rubescens*, *R. cyanoxantha*, *R. virescens*, *Amanita Vaginata*, *A. echinocephala*, *Strobilomyces floccopus*, *Lepista nuda*, *Lactarius piperatus*, *Rozibes caperata* はじめ多く発生する。特に夏季発生種が多い傾向が認められた。冬季から春にかけて *Galerina clavata*, *Lentinus edodes* など発生をみる。

次に *Sakakieto-Shiietum caspidata* の森林には、*Leccinum Scabrum*, *Strobilomyces floccopus* が多生する傾向が認められる。その他特色に関し言及する。